

平成24年度 電力・エネルギー政策パッケージ【概要版】

【趣旨】

○国におけるエネルギー政策の見直しの方向を注視しつつ、県としてのエネルギー政策の中長期的な取組方向の考え方を示すとともに、平成24年度における主な施策を体系的に示すことにより、エネルギー関連施策を総合的に推進していく。

【エネルギー政策のあり方】

<基本的な視点>

- 東日本大震災・福島第一原発事故を踏まえ、リスク対応も含めて、エネルギーの「安全・安心」が確保されること
- エネルギー自給率の低さ、地球環境問題といった課題に対応し、エネルギーが「安定」的かつ、「環境」に適合して、確保されること
- 「経済性」を満たすエネルギーが確保されるとともに、エネルギー分野への取組が産業や経済の「成長」につながり、世界と闘える愛知の実現に貢献すること

※国は今夏を目途に「革新的エネルギー・環境戦略」を策定することから、本県としては、国の動向を注視し、必要に応じて見直しを行っていく。

<中長期的に目指す姿>

エネルギーリスクに強く持続可能な分散型エネルギーシステム

【需要面】

- 日常生活や経済活動、まちづくりなどあらゆる場面に効率的なエネルギー利用が組み込まれた社会

- ◎「省エネ」、「創エネ」、「蓄エネ」を組み合わせ、地域における需要と供給の最適なコントロールが行われる社会

【供給面】

- 再生可能エネルギーなど多様なエネルギー源の導入が進むとともに、非常時も含め、安全・安心で安定的なエネルギー供給が図られる社会

【中長期的な取組方向と24年度の主な施策】

柱1：必要なエネルギーを賢く使う「スマート省エネ」の社会づくり

【具体的な取組方向】

- 電力使用の見える化を通じたピークカットなど「スマート・ユース」を実践するライフスタイルへの転換

- 先進技術を取り入れたエネルギー消費が少なく暮らしやすいまちづくり

- 産業の競争力を高める省エネ対策の促進

【24年度の主な施策】

- ・電力需要が高まる夏・冬に向けた集中的な節電対策の検討・実施
- ・地球温暖化防止・エコライフの実践に向けた普及啓発

- ・環境調査センター・衛生研究所の建替えにおける環境配慮型のモデル施設の検討
- ・建築物の環境性能を総合的に評価する「CASBEE あいち」の普及
- ・EV・PHVを対象とした自動車税の免除措置

- ・モノづくり中小企業団体における省エネ対策のための人材育成や中小企業団体等と連携した省エネ診断

柱2：地域資源を総動員する多様なエネルギーづくり

【具体的な取組方向】

- 太陽光をはじめ、地域の特性を生かした再生可能エネルギーの最大限の活用

- (太陽光)
- ・本県の日射量は全国有数
- (小水力)
- ・本県では、農業用水路等における小水力発電の適地が多い
- (バイオマス)
- ・食品廃棄物、下水汚泥、家畜排せつ物、林地残材など多様なバイオマス資源がある

- 地域に賦存する新たなエネルギー源の開発促進

【24年度の主な施策】

- ・住宅用太陽光発電施設設置に対する市町村との協調補助
- ・田原市内で企業が実施するカソーラー事業への支援
- ・カソーラー施設の事例調査と市町村向け説明会の開催
- ・農業用水路における小水力発電の導入検討（明治用水地域や大島ダムの実業化の推進、中山間地域等での導入検討）
- ・衣浦東部流域下水道浄化センターにおいて、下水汚泥を炭化し、隣接する火力発電所において石炭の代替燃料として利用を開始

- ・メタンハイドレートの渥美半島沖での産出試験に関する情報収集と協力

柱3：分散型エネルギーシステムの構築に向けた研究開発及び産業化の推進

【具体的な取組方向】

- エネルギー関連の先導的な実証実験・技術開発の支援

- エネルギー関連企業の誘致などによる地域経済の活性化

【24年度の主な施策】

- ・「あいち臨空新エネルギー実証研究エリア」における企業による新エネルギーの実証実験の推進
- ・豊田市「次世代エネルギー・社会システム実証事業」への参画と先進事例の県内他地域への波及
- ・産業空洞化対策減税基金を活用したエネルギー関連企業の誘致、実証実験・技術開発に関する補助